

インクルーシブ大運動会

スペシャルキッズプロジェクト



インクルーシブ 大運動会って？

私たちは 障がいのある子どもたちや
ちょっと変わったこだわりや 特性のある子どもたちが
自分らしいままでも社会に出て生活ができるように
少しでも今ある不安や心配事が改善されるよう
活動しています

でもそれは 障がいのある人だけががんばっても
なかなか難しいのです

私たちは 障がいや特性をたくさんの人に知ってもらい
たくさんの方が受け入れてくれるようになってこそ
変わっていくものだと思っています

その一環として 大運動会のようなイベントを開催し
たくさんの人と出会える場
知ってもらおう場をつくっています

インクルーシブとは
誰もが共に楽しめる
参加できる社会を目指す
考え方



イベント概要

活動名. インクルーシブ大運動会

実施日. 2025年8月30日（土）

会 場. 船橋市中央公民館

目 的. 障がいの有無や年齢、国籍に関係なく
みんなで楽しめる運動会を開催する

インクルーシブ① スタッフ



千葉商科大学

人間社会学部
和田教授ゼミ学生



ふなばし夏のボランティア体験メンバー

船橋市内
中学生・高校生



協力団体

はぐくみハグミー



協力団体

千葉県テコンドー協会
ヨンソンテコンドー

インクルーシブ② 参加者

- 幼児から大人まで
- 障がいのある人もない人も
- 多国籍な参加者



インクルーシブ[®]③ イベント内容

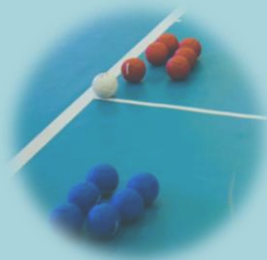
■ パラスポーツ

- ボッチャ
- フライングディスク
- テコンドー
- モルック



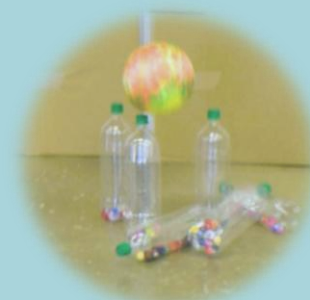
■ 障がい疑似体験

- 視覚障がい体験
白杖を使って歩いてみよう！
- 車椅子体験



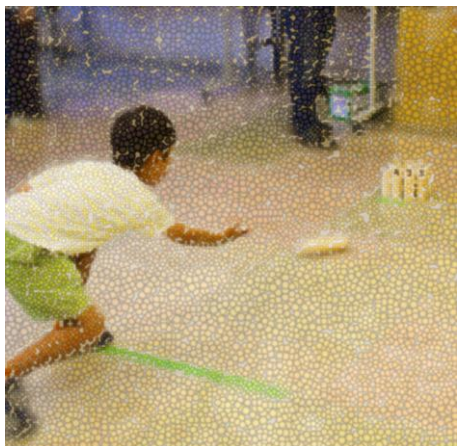
■ 大学生考案！ インクルーシブゲーム

- ペットボトルボーリング
- 目隠しコイン当てゲーム



当日の様子

インクルーシブ 大運動会



活動の成果

チラシ

学校や福祉施設、図書館、公民館など
公共施設にチラシ 計700枚配架

ボランティア

船橋市の中・高校生、千葉商科大学の
学生ほか市民団体ボランティア 計31名

参加者

イベント参加者 計58名

学生ボランティアの声



高1

ボランティアから人とのかかわり方を改めて学んだ

障がいのある子もない子も、遊んでいるときはあまり変わりが無いということが分かった。違いよりも同じがたくさんあると気づいた



中2

今回の体験で、目の不自由な方は大変な苦勞のなか生活しているのだと分かった。今後は困っている人を見かけたら声をかける勇気を持ちたいと思う

ボランティアに参加する前は、障がいのある方とどうかかわれば良いのか分からなかったが、今回の体験を通して寄り添う方法や声のかけ方を知ることができた



高2



中3

今後の展望

■ 地域との連携をさらに広げる

自治体や福祉施設と協力し地域ぐるみの運動会に

■ 学びの場としての発展

学生が自分の得意を活かして関われる機会を増やす
地域共生社会について考えるきっかけに

■ 参加者の多様性をさらに広げる

より多様な人が参加しやすい雰囲気づくり



コンペ ～想いを伝える学生デザインのカ～

総合政策学部 吉羽教授ゼミ学生による作品



採用作品

学生インタビュー① チラシデザイン

■ 伊藤さん



■ 中村さん



採用作品

学生インタビュー② マスコットキャラクター

■ 伊藤さんデザイン

当日配布したシールやスタンプラリーで大活躍でした！



ありがとうございました



**SPECIAL
KIDS
PROJECT**

豊かなひと時を 家族と一緒に

音楽やアート、スポーツとお子さまの成長に必要な
認知力や言葉、心、身体、コミュニケーション力の発達を促し、
長所を伸ばす体験につながってほしいと願っております。
そして日常気づかないお子さまの新たな一面を知るきっかけを提供し、
新たな出会いやつながりを大切にしながら活動しています。
お子さまの「楽しい!」「やりたい!」を見つけ豊かなひと時を一緒に楽しみましょう!



ホームページ



Instagram



Facebook



お問い合わせ

スペシャルキッズプロジェクト

special.kids.project@gmail.com

船橋市本町 3-3-1 川守ビル 3F (ヨンソンテコンドー)